

16. 膀胱がん

○

○:専門とするがん △:グループ指定により対応しているがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり △:グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×:なし ○

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日					各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ						
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術			放射線療法 体外照射	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容				
				開腹手術	経尿道的手術				化学療法	膀胱内注入療法	治療内容	治療実績	医師の専門分野
1 腎泌尿器外科	9	4	状況	○	○	○	○	○	従来なら膀胱全摘が必要な局所浸潤性膀胱癌でも透析併用放射線動注化学療法を導入し膀胱温存治療を積極的に行っている。	泌尿生殖・発達医学講座 腎泌尿器外科 専門外来 紹介 http://www.osaka-med.ac.jp/dens/uro/html/special.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	あり	あり	あり	あり		http://			
2			状況							http://			
			実績							http://			
3			状況							http://			
			実績							http://			
4			状況							http://			
			実績							http://			
5			状況							http://			
			実績							http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること	
---	--

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例:膀胱がん 非筋層浸潤性膀胱がん・筋層浸潤性膀胱癌・再発性膀胱がん・転移性膀胱がん・腺組織由来の膀胱がん
------------------------------------	--